

自分の街風どう吹く

特徴把握し備えを

東奥日報 2018.8.21 横浜国立大

台風がどのコースをたどったら、自分が住んでいる街や今いる場所に強風が吹くのか。こんな情報を画像で知ることができる台風のハザードマップ「台風ソラグラム」を、横浜国立大の筆保弘徳准教授(気象学)が開発した。協力するIT企業のスマートフォン向けのウェブサイトで公開しており、無料で見るができる。

台風ハザードマップ スマホ向けに開発

「ライフレンジャー」で検索し、サイト左上のメニューアイコンから「防災・備え」を選択。さらに「台風ソラグラム(風ハザード情報)」に入っていくと、主に市区町村単位で全国の地域を選ぶことができる。

画像は、選んだ地域を中心に半径500mの円で表示。台風が中心が位置したときの風の強さを領域ごとに赤や黄色、緑、青などの色別で表すほか、風の方向を矢印で示してくれる。

例えば横浜市を選ぶと、静岡県や山梨県など西側を台風が通過したときに強風が予想されることが分かる。新潟市は逆に、東側を通るときに風が強くなる。筆保准教授は、過去に発

生した台風の実例を活用し、コンピューター上のシミュレーションで、8000個超の台風をさまざまな経路で日本列島にぶつけ、結果を解析。地域ごとに、どう風が吹くかを平均しマップを作成した。

自治体が作成するハザードマップについては、西日本豪雨で大規模な浸水被害が起きた岡山県倉敷市真備町地区で、ほぼ想定通りだったことが判明。広島県や愛媛県で発生した土砂災害の状況も想定とほぼ一致するなど、事前に災害の危険性を把握する重要性が改めて指摘されている。

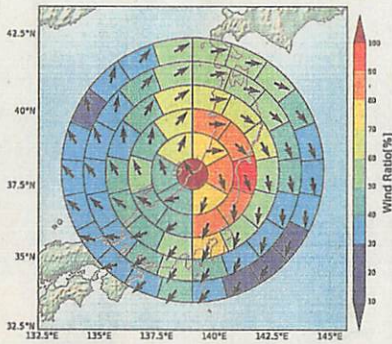
筆保准教授は「住んでいる地域の特徴を平常時から把握してほしい」と活用を期待。さらに「台風」と個性があって難しい」という雨量の予測も研究が続けているほか、高潮のハザードマップ作成も取り組んでいる。

西日本豪雨被災初の関連死認定

愛媛・西予市、70歳男性 愛媛県西予市が、西日本豪雨で被災し、避難所で生活していた7月12日に突然死した同市三瓶町地区の男性70を災害関連死と認定したことが21日分かった。

新潟市中央区の台風ソラグラム

台風ソラグラムの見方



新潟市中央区の台風ハザードマップ(ライフレンジャーのウェブサイトから)

<新潟市中央区の台風ソラグラム 解説>

台風の中心位置が宮城県沿岸周辺にある場合、特に風が強く吹くことがあります。仮に中心風速25m/sとすると、台風中心付近と同等、もしくはそれ以上に強く吹き、警報級の風となる可能性があります。

- 起こりうる主な被害、事故
- ・電車遅延、飛行機や船の欠航